

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】令和1年10月24日(2019.10.24)

【公開番号】特開2018-59470(P2018-59470A)

【公開日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2018-014

【出願番号】特願2016-198775(P2016-198775)

【国際特許分類】

F 0 2 C	7/00	(2006.01)
B 2 3 K	1/00	(2006.01)
F 0 1 D	25/00	(2006.01)
F 0 1 D	5/28	(2006.01)
F 0 1 D	9/02	(2006.01)
C 2 2 C	19/05	(2006.01)
C 2 2 F	1/10	(2006.01)
C 2 2 F	1/00	(2006.01)

【F I】

F 0 2 C	7/00	D
B 2 3 K	1/00	3 3 0 P
F 0 1 D	25/00	X
F 0 1 D	5/28	
F 0 1 D	9/02	1 0 1
B 2 3 K	1/00	3 1 0 B
C 2 2 C	19/05	C
C 2 2 C	19/05	L
C 2 2 F	1/10	H
C 2 2 F	1/00	6 0 2
C 2 2 F	1/00	6 5 1 B
C 2 2 F	1/00	6 1 3
C 2 2 F	1/00	6 1 1
C 2 2 F	1/00	6 2 4
C 2 2 F	1/00	6 0 6
C 2 2 F	1/00	6 0 7
C 2 2 F	1/00	6 8 2
C 2 2 F	1/00	6 9 1 B
C 2 2 F	1/00	6 9 1 C
C 2 2 F	1/00	6 9 2 A
C 2 2 F	1/00	6 9 2 B
C 2 2 F	1/00	6 3 0 M
C 2 2 F	1/00	6 4 0 B

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月9日(2019.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

本実施形態では、ステップ S 1 3 0 において、ろう付け処理及び安定化処理と時効処理とを連続して行う。図 4 は、ステップ S 1 3 0 における加熱処理の一例を示すグラフである。図 4 の横軸は時間を示し、縦軸は温度を示している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

<第 3 実施形態>

図 5 は、第 3 実施形態に係るタービン翼の製造方法の一例を示すフロー チャートである。図 5 に示すように、第 3 実施形態に係るタービン翼の製造方法は、第 1 実施形態に係るタービン翼の製造方法において、母材にアンダーコート及びトップコートを形成する工程を含んでいる。アンダーコート及びトップコートは、ガスタービンのタービン翼を高温から保護するための遮熱コーティング (Thermal Barrier Coating : T B C) として形成される。